

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成20年11月6日(2008.11.6)

【公開番号】特開2007-90538(P2007-90538A)

【公開日】平成19年4月12日(2007.4.12)

【年通号数】公開・登録公報2007-014

【出願番号】特願2005-279304(P2005-279304)

【国際特許分類】

B 4 2 D 15/10 (2006.01)

G 0 6 K 19/10 (2006.01)

【F I】

B 4 2 D 15/10 5 3 1 B

B 4 2 D 15/10 5 0 1 P

G 0 6 K 19/00 R

【手続補正書】

【提出日】平成20年9月24日(2008.9.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

配向性を有する基材において、前記基材の一方の表面上に、入射光のうち左円偏光、または、右円偏光のいずれか一方を反射するコレステリック液晶層を有し、前記基材の前記コレステリック液晶層と同じ側、あるいは、反対側にホログラム形成層を有し、前記ホログラム層と接してアルミ蒸着層を部分的に設けたことを特徴とする真贋判定用媒体。

【請求項 2】

前記コレステリック液晶層は、パターン印刷により形成されていることを特徴とする請求項 1 記載の真贋判定用媒体。

【請求項 3】

前記アルミ蒸着層は、デメタライズ処理によりパターニングされていることを特徴とする請求項 1 または 2 記載の真贋判定用媒体。

【請求項 4】

前記光選択反射層は、コレステリック液晶層であることを特徴とする請求項 1 ～ 3 何れか一項記載の真贋判定用媒体。

【請求項 5】

前記ホログラム形成層には、マイクロ文字、レーザ再生機能等の隠しセキュリティがエンボスとして記録されていることを特徴とする請求項 1 ～ 4 何れか一項記載の真贋判定用媒体。

【請求項 6】

前記粘着剤層は、黒染料等により黒着色されていることを特徴とする請求項 5 記載の真贋判定用媒体。

【請求項 7】

真贋判定対象である情報記録体であって、その表面に請求項 1 ～ 6 何れか一項記載の真贋判定用媒体が積層されていることを特徴とする情報記録体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】真贋判定用媒体および情報記録体

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

前述した目的を達成するために第1の発明は、配向性を有する基材において、前記基材の一方の表面上に、入射光のうち左円偏光、または、右円偏光のいずれか一方を反射するコレステリック液晶層を有し、前記基材の前記コレステリック液晶層と同じ側、あるいは、反対側にホログラム形成層を有し、前記ホログラム層と接してアルミ蒸着層を部分的に設けたことを特徴とする真贋判定用媒体である。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

真贋判定用媒体のコレステリック液晶層は、パターン印刷により形成する。このため、より複雑なデザインとすることができ、セキュリティ性が向上する。また、ベタ印刷ではなくパターン印刷とすることにより、円偏光板を被せて目視で判別することが容易となる。

アルミ蒸着層は、デメタライズ処理によりパターンニングする。ホログラム形成層には、マイクロ文字、レーザ再生機能等の隠しセキュリティがエンボスとして記録される。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

真贋判定用媒体は、アルミ蒸着層と接して粘着剤層を有している。粘着剤層を黒染料等により黒着色することにより、コレステリック液晶層の色彩可変効果、円偏光性機能が向上する。粘着剤層は透明色で、被着体の色を黒としても同様の効果が得られる。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

第2の発明は、真贋判定対象である情報記録体であって、その表面に第1の発明の真贋判定用媒体が積層されていることを特徴とする情報記録体である。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0022】

粘着剤層 7 は、真贋判定を必要とする任意の物品に真贋判定用媒体 1 を接着するための層で、アルミ蒸着部 6 を蒸着したホログラム形成層 5 に積層される。

粘着剤層 7 は、アクリル系接着剤、天然ゴム系接着剤、合性ゴム系接着剤またはシリコンゴム系接着剤等を塗布して形成し、シート等のセパレータ 8 に一時的に接着しておく。